

新しい学年を目前にして、この1年を振り返ろう！

今年度も今日で終わりです。充実した1年を過ごせたでしょうか？2週間の春休みをはさんで新年度を迎えます。2年生は3年生になり、進路を決定する1年となります。高校生活の集大成の時です。進路決定に向けての学習・準備は進んでいますか？また、1年生は2年生になり、中心学年になります。新学期を迎える前にもう一度1年間の学習習慣について振り返ってみましょう。



1年生へ **学習習慣を身につけましょう！ 基礎学力をつけましょう！**

① **学習習慣を見直し、成績アップを目指しましょう！**

1 学習時間 平日2時間、休日は3時間を目標にしましょう

スタディサポート等のデータによると、しっかり勉強できている人は、平日には2時間以上、休日には3時間以上学習していることがわかります。2年生になると、学習内容もレベルアップしてくるので、毎日確実に時間をかけて学習していくことが大切になってきます。

2 自宅学習 「予習 ⇒ 授業 ⇒ 宿題・復習」の学習サイクルを確立しましょう

予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか。着実に学力をつけていくためには、宿題や小テストの勉強、予習・復習など授業を中心とした学習をすることが大切です。毎日の授業を確実に理解していくためにも、「予習⇒授業⇒宿題・復習」の学習サイクルを徹底していきましょう。各授業で使用している問題集や参考書を大いに利用して勉強しましょう。卒業生の話によれば学校で使用していた教科書を何度も読み、問題集などを繰り返し解くことによって知識を定着させていったということです。日ごろの積み重ねが基礎学力を作ります。その基礎学力が進路実現につながります。

② **春休みの過ごし方 ～1年間の総復習と新年度に向けての準備をしましょう～**

春休みの課題もたくさん出ています。新学期には課題考査もあります。苦手科目の克服などもこの春休みにしましょう。いいスタートをきれるように充実した春休みを送ってください。

2年生へ **いよいよ受験生です！進路実現のためしっかり勉強しましょう！**

昨日（3月22日）に、卒業したばかりの先輩たちが貴重な体験談とみなさんへのアドバイスを話してくれました。みなさんの心に先輩たちの思いは届いたでしょうか。そのお話をまとめると次の11点になると思います。

- **受験勉強は早く始める。(特に英語の勉強)**
- **毎日きちんとしたリズムで生活する。**
(センター試験に合わせて、朝6時に起きて7時から勉強を始めた。クラブで朝練していた時間を引退後は勉強にあてた。)
- **まとまった時間勉強する。**
(睡眠、食事、入浴、休憩時間等を引いて、1日15時間勉強していた。部活引退後少なくとも10時間は勉強しようとしていた。)
- **時間を効果的に使う。**
(5教科7科目の勉強をするためには、勉強の割合を工夫する必要があるというアドバイスもありました。)
(最も集中できる20分を1サイクルでどんどん勉強した。)
- **授業を真剣に受け、小テストの勉強を怠らず、定期テストのための勉強もしっかりする。**
(授業で習っていたことが過去問、あるいは実際の入試に出ていたという話がありました。入試ではよくあることです。)
- **同じ問題集を繰り返し解く。理解しながら解く。**
(教科書や授業で使用している問題集をうまく利用して勉強していました。単語集の「ターゲット」や「スクランブル」という問題集の名前がよく出ていましたが、「Data Base 4500」や「構文90」をもう一度やり直してもいいと思います。)
- **志望校を決めてそれに向けての対策をする。(センター対策も含めて) 過去問を何年分も解く。早めに一度解いて傾向を知る。**
(過去問を解いては間違ったところ、できなかったところを徹底的に理解するまで復習した。)
- **部活と勉強の両立はできる。**
(部活で厳しい練習をしたあとでも必ず一定時間は勉強する。)
- **積み重ねが大事。**
- **受験勉強はしんどいかもかもしれないが、しんどいと思えるぐらい勉強することが大事。**
- **最後まであきらめない。**

以上のことを忘れずに心にとどめておいてください。

また各教科の勉強の仕方については、6月発行の『進路のしおり(資料編)』に昨日来て下さった先輩たちを含めてたくさんの卒業生が合格体験記としてみなさんにアドバイスしてくれています。楽しみにしてください。

① 受験勉強を始めましょう！

すでに受験勉強を始めている人もたくさんいると思います。でもまだ何もしていない人はこの春休みがスタートの時期です。3年生になってからとか部活を引退してからとか、何から勉強していいかわからないなどと言っていないで、とにかく始めることです。先輩たちの反省点の中には、もう少し早くから始めておけばよかったという意見が多く見られます。春休みの課題もたくさん出ています。それをきちんと取り組むことはもちろんですが、模擬試験やスタディサポートなどの問題をもう一度やり直してみるのもいいと思います。3年生になると、毎月1度は模擬試験を受けることになります。模擬試験は校内で行われる試験だけではなく、外部で行われる模試にも積極的に取り組んでみてください。先輩のアドバイスにもありますが、外部の人たちの中で本番さながらに受験する経験は非常に役に立ちます。そして、模擬試験を最大限に利用しましょう。同じ問題を何回も解く。何回解いても間違える問題は自分の弱点です。ノートに書きだして苦手問題ノートを作りましょう。先輩の話の中には、何回覚えようとしてもなかなか覚えられない英単語は単語カードに書きだしていつも持ち歩いたという話もありました。

公務員を目指す人は、各種専門学校で行われている無料の講座や模擬試験を大いに利用しましょう。面接対策をしてくれる学校もあります。また、公務員試験対策用問題集などで過去問対策をしましょう。

就職希望の人は就職講座や就職模試を通して着実に力をつけましょう。最近の就職試験では筆記試験の出来が合否をわけると言われています。基礎学力をしっかり身につけましょう。

② オープンキャンパスに参加しましょう。

最近では春休み中にも多くの学校でオープンキャンパスが行われます。先輩たちの中にはオープンキャンパスに行って、模擬授業などを受けたり、施設設備を見たりして、ぜひその学校に行きたいと思ったという人もいますし、逆に自分が思っていたのとは違うと感じた人もいます。夏休みにもオープンキャンパスは行われますが、実際に自分の目で見て来るということは志望校を決めるのには有効な方法の1つだと思います。保護者と行くのもいいと思います。

ただ、注意してほしいこともあります。特に専門学校についてですが、学校側の言うことをすべて鵜呑みにしないということです。よく聞くケースとして「この際にAO入試のエントリーシートを書いて提出してください。正式な合格は8月以降ですが、実質合格と同じように扱います。今なら入学金を〇万円免除します。」というような誘いがあったりするそうです。自分の将来を決める学校選びです。よく比較して慎重に決めましょう。

「入試はまだ先のこと」ではありません。部活を引退してからとか、もう少しあとでと先送りしていると後悔することになります。今できることから始めましょう。進路実現に向けて頑張りましょう！



こぼれ話 1

2月に韓国で冬季平昌オリンピックが開催されました。日本チームは長野オリンピックを超える最多のメダルを獲得することができました。

この大会ではみなさんと同年代の選手たちの活躍も見られ、多くの感動を呼びました。また、フィギュアスケートの羽生選手や宮原選手、スノーボードの平野選手のように大ケガから復帰して素晴らしいパフォーマンスをした選手、肋骨にひびが入った状態で過酷なレースを頑張り通したノルディック複合の渡部選手など、目標を達成するための『強い心』『あきらめない心』を見ることができた大会でした。

こぼれ話 2

先日『情熱大陸』という番組で、フィギュアスケートのコーチの濱田美栄さんが取り上げられていました。有名選手を何人も育て上げられた名コーチと言われている方ですが、番組の中でこんなことを言われていました。

「素直さってすごく大事だと思う。よくみんな意見を言いなさいというけれども、まず素直に聞いてそれから熟練されて自分の意見を持つのはとても良いことだと思うけど、初めから自分の意見を言う子は上手いかない。スケートだけにかかわらず仕事（勉強）でもそうだと思う。まず素直に人の言うことを聞いてやってみる。努力は必ず報われる。だけど正しい努力でないと報われない。」

『素直さ』は目標達成への1つのキーワードかも。

こぼれ話 3

先輩の話（昨年の卒業生の話聞く会）の中に英語の勉強の仕方の話がありました。

『文法を制する者は英語を制する。英語を制する者は受験を制する。』という話がありました。その通りだと思います。その先輩はスクランブルを何周もして文法力を定着させていった結果、センター試験で75%の得点率だったそうです。もう一人の先輩も毎日スクランブル50ページを目標に解いていき、センター試験では80%以上得点することができました。そのうえで長文問題をどんどん解いていったそうです。英語の1つの勉強法として参考にしてください。